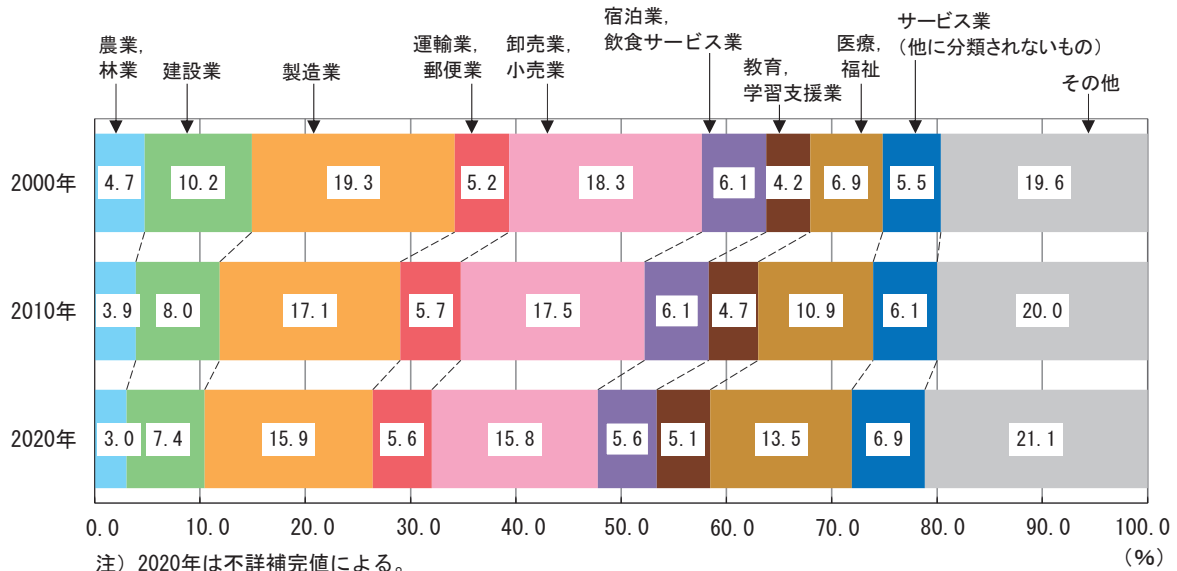


2-6 産業・職業 —どんな仕事をしている？—

日本ではどのような仕事に就く人が増えているのでしょうか？ 男性と女性でどのような違いがあるのかについてもみていきましょう。

Q1 どの産業に就いている人が多い？

15歳以上就業者の産業（大分類）別割合の推移—全国（2000年～2020年）



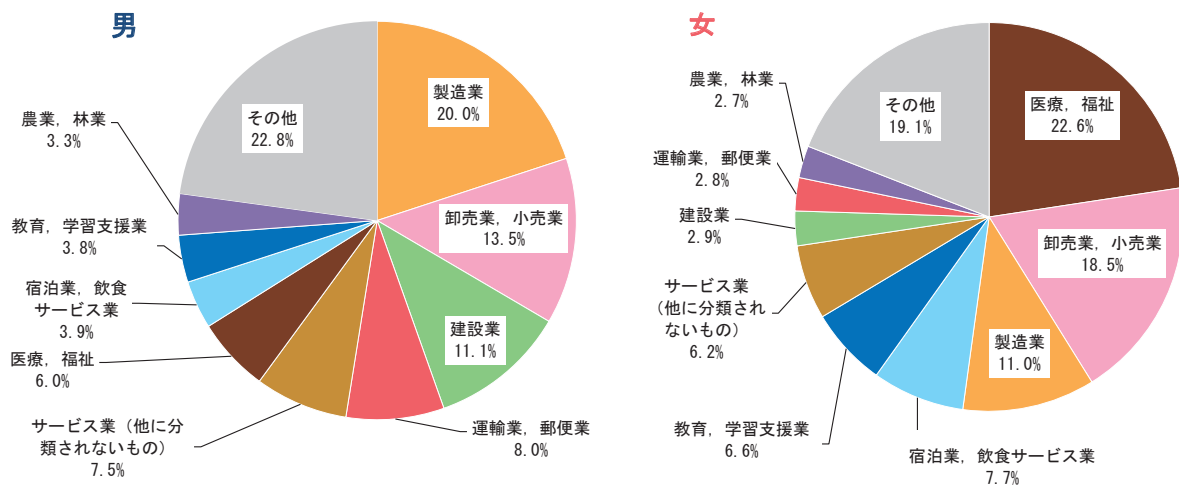
A 2020年は、「製造業」が最も多く15.9%を占めている

- ◆ 2000年と比べ最も増えているのは「医療、福祉」で、その割合は6.6%ポイント上昇

注意点⑦ P. 39

Q2 男性と女性で、産業ごとの就業者の割合はどのように違う？

15歳以上就業者の男女、産業（大分類）別割合—全国（2020年）

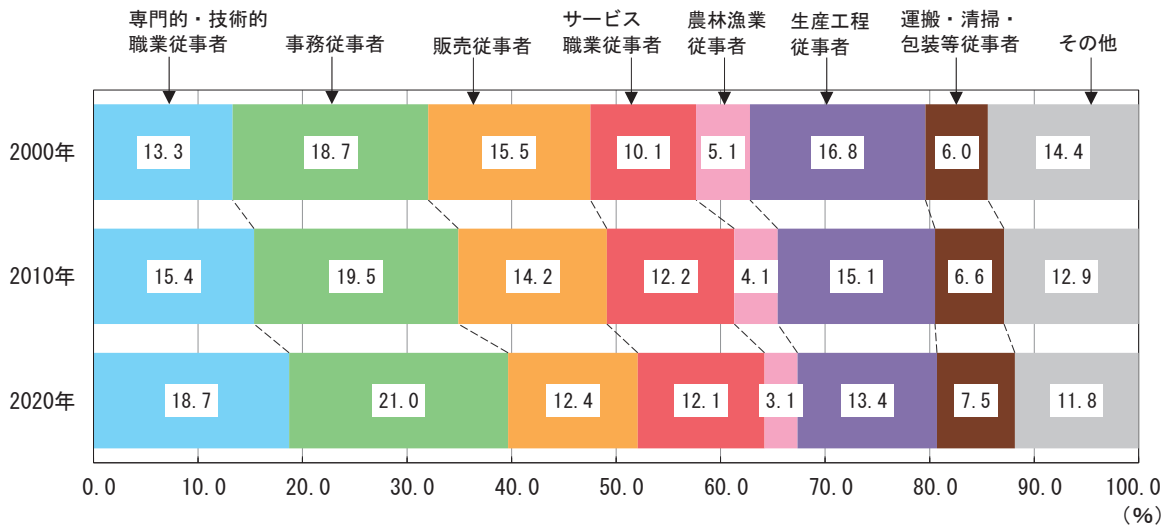


A 男性は「製造業」、女性は「医療、福祉」の割合が最も高い

- ◆ 男性で「製造業」の割合は女性の約2倍、女性で「医療、福祉」の割合は男性の約4倍

Q3 どの職業に就いている人が多い？

15歳以上就業者の職業（大分類）別割合の推移—全国（2000年～2020年）



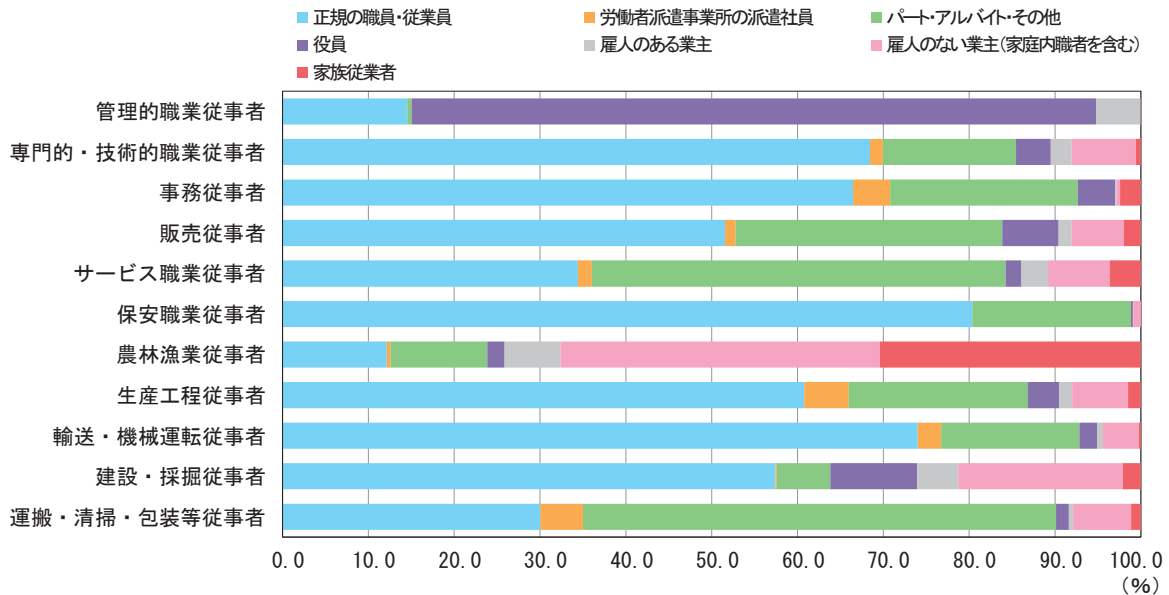
A 2020年は、「事務従事者」が最も多く21.0%を占めている

- ◆ 2000年と比べ最も増えているのは「専門的・技術的職業従事者」で、その割合は5.4%ポイント上昇

注意点⑧ P. 40

Q4 職業によって就業の形態はどのように違う？

15歳以上就業者の職業（大分類）、従業上の地位別割合—全国（2020年）



A 「保安職業従事者」は全ての職業の中で「正規の職員・従業員」の割合が最も高く80.3%。「運搬・清掃・包装等従事者」は同様に「パート・アルバイト・その他」の割合が最も高く55.1%

- ◆ 同様に「生産工程従事者」は「労働者派遣事業所の派遣社員」の割合が最も高く、「管理的職業従事者」は「役員」の割合が最も高い